

令和元年度 地区小学校教育課程研究会 提案資料

部会名 総合的な学習の時間

令和元年度県央地区小学校教育課程研究会研究主題

児童一人ひとりの生きる力をはぐくむ指導計画及び指導の工夫・改善

児童の主体性を育てる指導の工夫

～防災学習を通して～

地区名 県央地区

所属校 座間市立入谷小学校

名 前 阿部 有希

※児童の写真、ワークシート等の記述及び作品等については、すべて提案資料への掲載の許諾を得ています。

※参考文献等、著作物からの引用文については、すべて提案資料への掲載の許諾を得ています。

1 研究の概要

1 テーマ設定の理由

神奈川県小学校教育課程研究会の研究主題である「児童一人ひとりの生きる力をはぐくむ指導計画及び指導の工夫・改善」をふまえ、以下の観点から研究テーマを設定した。

座間市立入谷小学校 学校教育目標

「笑顔いっぱいかがやく入谷っ子」

研究テーマ

児童の主体性を育てる指導の工夫

～防災学習を通して～

学習指導要領

総合的な学習の時間の目標から

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質能力を以下のように育成することを目指す。

- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探求的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

防災学習の持つ特性から

防災学習は、「命」にかかわる問題であり、児童にとって学ばなくてはならない大きな課題である。よって、防災学習は、児童が自分たちの学習に有意性を感じやすい内容であると言える。また、防災学習は答えが一つに決まっている場合はほとんどなく、それぞれの置かれている状況において臨機応変な対応と思考を求められることが多い。そのため、周囲と自ら関わり合いながら学習を進めていく必要性がある。

座間市立入谷小学校
平成 31 年度校内研紀要より

地域性と児童の実態から

児童が暮らすこの地域では、30年以内に東日本大震災クラスの地震が来る確率が9割以上とも言われている。よって、小中合同で引き取り訓練が行われていたり、本校では月に1度シェイクアウト訓練が行われていたり、児童が防災に触れる機会が多い。また、東日本大震災や、熊本、北海道の大きな地震から自分たちの身を守るためにはどうすればよいのかに興味を持っている児童も多い。本学級の児童は、学習に対してまじめに取り組める反面、自分たちで考え実行したり表現したりすることを苦手とする児童が多い。それは、一問一答の問いに対しては答えられるが、自分の思いや考えを話す際の授業の様子にも表れている。自らの内在する思いや考えをもとに行動したり話し合う機会が必要である。

2 テーマについて

(1) 「児童の主体性」について

新学習指導要領には、児童の育てたい資質・能力として以下の3点が挙げられている。

- | |
|---|
| ①学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養
②生きて働く知識技能の習得
③未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成 |
|---|

①から「**周囲と関わり合いながら自ら学習に向かう姿**」

②からは、「**活用できる知識や技能を自ら学ぶ姿**」

③からは「**自ら課題を見つけ、解決しようとする姿**」とそれぞれを重点化し、本研究で目指す主体性の定義として据えることとした。

また、その主体性を育てるためには、児童自身の興味関心の重視、児童の望ましい変容を教師が予測し続けること、つながりを意識した授業・学習、児童自身が、何ができるようになっていくのかをはっきりと感じさせることが主体性を育てるポイントとなってくると考え、題材の精選を行った。

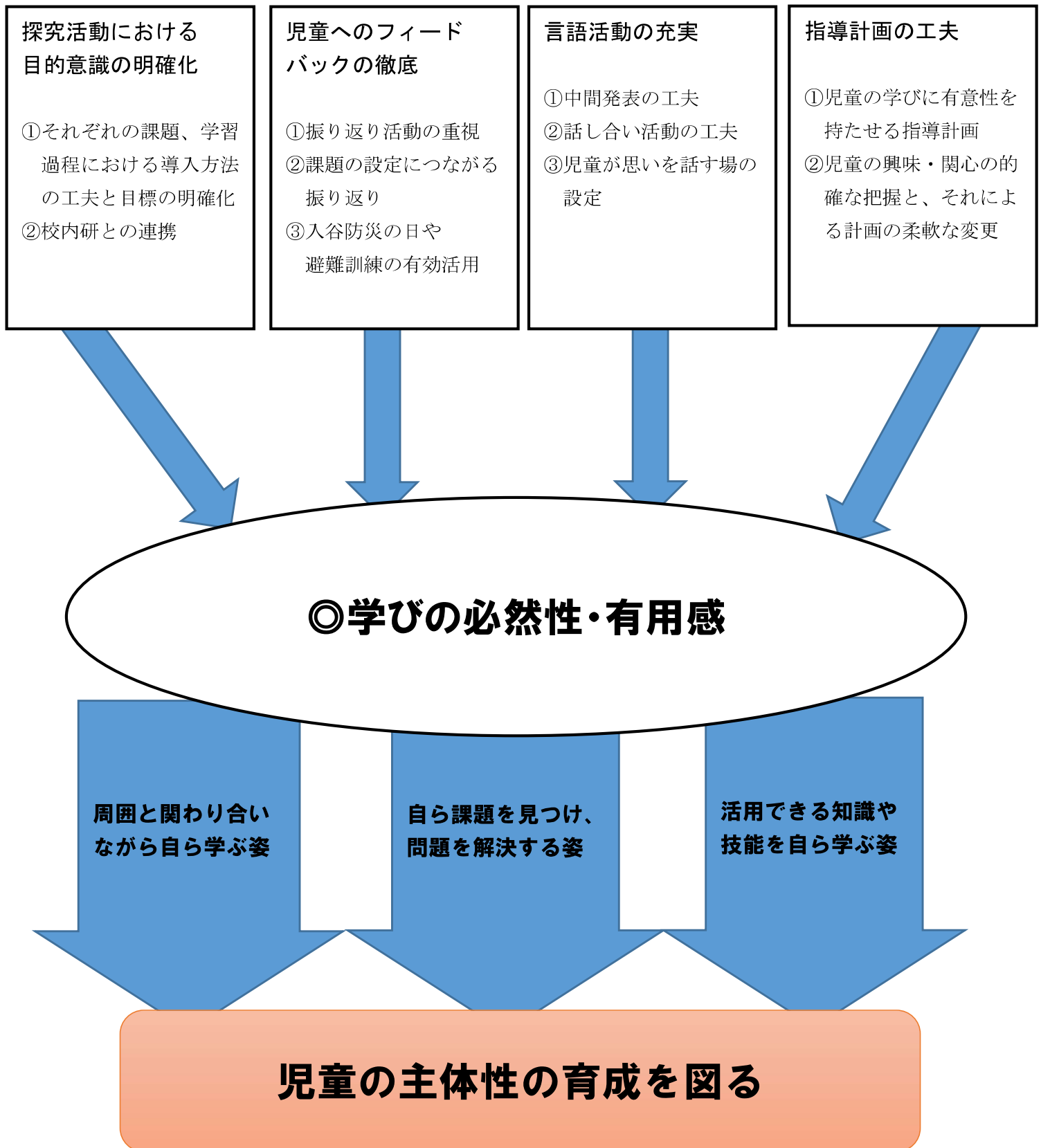
(2) 「防災学習」について

上記①～③の児童の主体性を育てるポイントを満たす題材を選定するために

- | |
|---|
| ①その題材が児童にとって価値のあるものなのかどうか。
②その学習、その活動が何のために行われているのか。 |
|---|

が必要であると考えた。それは、児童が学習に、「必然性」を感じているかどうかである。防災学習は、とても難しい題材である。児童が、懸命に調べても、学んでも、簡単に解決できない課題が防災学習にはたくさんあり、さらに児童同士が意見を交流し、お互いに調べたこと、知っていることを共有しやっとなつの課題を解決することができるものである。また、一つ解決しても、そこから新たな課題が出てくるのも防災学習の特色であり、面白さである。今、自分が調べていること、学んでいること、友達と意見交流し深めていることの一つ一つが簡単に解決できない課題を解決するために必要なことなのだと児童が感じることで「必然性」につながり、また、その繰り返しが「児童が本気で学ぶ」姿につながっていくと考えられる。また、それぞれの活動が最終的には、「自分の、他者の命を守る学習である」ということを意識させることで児童が学習に感じるであろう有意性・必然性をさらに強くすることができると考えている。「防災学習」という題材の持つ力を有効に利用しながら、児童の主体性を育てるためにどのような活動をするのか、また、教師はどのようなアプローチをしていくのかを考えて研究を進めていくこととした。

3 研究テーマに迫るための手立て



防災学習の特性を有効に生かすために、以上のような手立てを考え実践を行ってきた。

2 研究の流れ

2 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">国会見学に向けて</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 自分たちの生活を見直そう ○入谷防災の日・避難訓練振り返り ○校内の安全 ○避難スタンダードを作ろう ○災害について知ろう ○過去の震災から学ぶ </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">日光ガイドブック</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">わら細工 わらすぐり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 率先避難者になるために ○避難所運営ゲーム（HUG） ○こんな時どうする？ ◎率先避難者になるために </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">6年間の感謝を伝えよう</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 率先避難者として ○防災すごろく ○避難所運営ゲーム ○自分たちにできることを考えよ </div>			
他教科との関連	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 国語 「あなたの意見は？」 道徳 「命のおにぎり」 行事 「避難訓練」 「入谷防災の日」 </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 国語 「調べるための本」 「説得力のある意見」 理科 「土地のつくりと変化」 「地震や火山」 算数 「速さ」 行事 「シェイクアウト訓練」 </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 国語 「平和な世の中を築く」 理科 「電気の利用」 社会 「災害から生活を守る政治」 道徳 「今の私にできること」 </div>			

研究に関わる単元および題材… 研究に関わる内容… ○

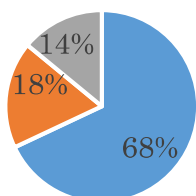
3 単元の設定理由

(1) 児童の実態

本学級の児童は、校内研究で防災学習に取り組んでいたこともあり防災に対しての素養がある程度育ってきている。また、地域性として、児童が生活するこの地域は、30年以内に大きな地震が起こる可能性が90%ともいわれており、防災の意識が高い地域であるといえる。また、東日本大震災はもちろんだが、熊本や学習の最中には北海道での大きな地震もあり児童にとって防災学習は身近な学習であった。本学級の児童は、もっと知りたいという知識への意欲は高いものの、発表や提案など自分の考えや思いをアウトプットすることに抵抗がある児童も少なくない。また、意見交流の場面では、自分の考えを伝えて終わりにしてしまう児童が多く、他者の意見を取り入れ、自分の考えを再構築できる児童はほとんどいない。また、与えられた課題には一生懸命に取り組むことができるのだが、そこから自分自身の課題を見つけ学習することが苦手である。

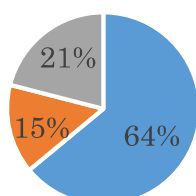
児童は、2年前には緊急時の家族との連絡の取り方に興味を持ち、災害用伝言ダイヤルの学習をした。保護者にインタビューを行い、どのような情報を伝えるのが良いのかを考え、災害用伝言ダイヤルの体験を行っている。また、市役所の方の立会いのもと災害備蓄倉庫に何が入っているのかを調べ、そこから自分の家庭の持ち出し袋を考えている。耐震構造など建物の地震対策についても学習し、どのような場所に一次避難行動を取れば良いか話し合い活動を行った。また、東日本大震災、阪神大震災のそれぞれの語り部さんの講演も聞くことができ、自分自身の身を守れるという意識は、徐々に高まってきている。

総合的な学習の時間は好き？



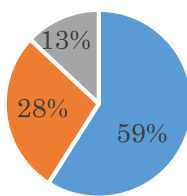
- 好き
- 嫌い
- どちらともいえない

自分の思いや考えを話すこと



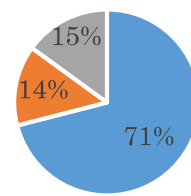
- 好き
- 嫌い
- どちらともいえない

調べ学習を楽しんでいると思うか？



- 楽しい
- 楽しくない
- どちらともいえない

総合的な学習は今後の役に立つ？



- 思う
- 思わない
- どちらともいえない

上記は、年度初めに取ったアンケートの結果で注目すべき点である。総合的な学習は自分の興味に基づいて活動することができる領域であるのに、「好き」と答えた児童は、他教科よりも低い。調べ学習についても同様で、興味に基づいて調べ学習を行っているにも関わらず、調べ学習を苦手と感じている児童も少なくない。その原因は、児童が苦手とする自分の思いや考えを話す機会が多い領域であるということ、総合的な学習の時間は今後の役に立つという有意性を感じにくいということがあげられる。児童の興味を意欲につなげ、有意性を感じることができるような総合的な学習の時間の単元構成を目指すこととした。

(2) 本単元で身に付けたい資質や能力

「学習方法に関すること」

- ・ 率先避難者に少しでも近づくために、必要な情報を収集し、整理する。

「自分自身に関すること」

- ・ 学習を生かして、大きな震災に遭われた方や、校内・地域の防災、減災のために自分には何ができるかを考えて実践する。

「他者や社会との関わりに関すること」

- ・ 大きな震災に遭われた方の思いや考えを知る。
- ・ 友達と意見交流をしながら協同的に学ぶ。

(3) 教材について

防災学習は、「命を守る学習」であり、学習に強い目的意識を見出すことができる。そのため、児童はそれぞれの探究活動に真剣に取り組むことができ、その後の発表や意見交流の場面でも学習活動に強い有意性を持つことができる。また、防災学習は、住んでいる地域や家庭の状況によって問題の解決方法が変わってくる。そのため、たくさんの人と関わり合い、友達と意見交流を繰り返し、協同的に学ぶ必要がある。自分たちや、家族の安全を考える上で地域の様子に目を向ける必要性もあるため、地域素材としての意味合いも強く持つことになる。自分たちの命のためだけでなく、他者の安全や命にも目を向ける活動は、児童の視野を大きく広げることとなり、支え合う力、気持ちの育成につながりそれこそが児童の生きる力の一つになると感じている。児童の興味や意欲が途切れないように計画をしっかりと組み、防災学習によって総合的な学習の時間を充実させていきたい。

4 年間指導計画

6年1組年間指導計画 (49時間)

学期	時期	内容 ◎題材【時数】・学習内容	評価	他教科との関連
1 学 期	4月	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分たちの生活を振り返ろう</p> <p>◎入谷防災の日振り返り【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト振り返り ・自己の課題見つけ <p>◎校内の安全を確認しよう。【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の振り返りをする。 ・校内をグループごとに探索し、地震の際に不安な場所を調べる。 ・地震の際の、校内のそれぞれの場所の避難行動について考える。 	<p>課シェイクアウトから安全に避難するために身に付けなくてはいけないことが何かを考えている。</p> <p>情校内のどこが危険なのかを知るために、見て回ったり、聞いたりして情報を集めている。</p>	<p>1学期</p> <p>「国語」</p> <p>○あなたの意見は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関わる意見文を書き、友達と意見を交流させる。 <p>「道徳」</p> <p>○命のおにぎり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料から、震災に遭われた方の気持ちに触れる。「本当の親切」とは何であるかを考える。
	5月	<p>◎入谷小学校避難スタンダードを作る。【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとにそれぞれの場所では、どのような避難行動を取れば良いのかを考え、まとめる。 	<p>表調べたことをもとに、学校内の様々な場所での避難方法を分かりやすく伝えようとしている。</p>	<p>「学校行事」</p> <p>○避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの避難行動を振り返り、できるようになってきたこと、新たな課題を見つける。
	6月	<p>◎災害について知ろう。【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が怖いと思う災害について調べ、まとめる。 ・発表し、クラスで共有する。 ・クラスでどの災害が怖かったか、また、備えなくてはいけないかを話し合う。 	<p>情危険な災害について調べるために、インターネットや本を有効に活用している。</p>	
	7月	<p>◎過去の震災から学ぶ。【1時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の震災がどのようなものであったのかを知る。 ・釜石の奇跡から、今の自分たちに何が必要なのかを考える。 	<p>解集めた情報をもとに話し合い、共有することでその対策を考えている。</p> <p>課釜石の奇跡から自分たちが「率先避難者」になるためには何が必要かを考えている。</p>	

学期	時期	内容 ◎題材 ・学習内容	評価	他教科との関連
2 学期	8 9月	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">率先避難者になるために自分たちに必要なことを考えよう。</p> <p>◎避難所運営ゲーム (HUG) 【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かして、避難所の状況を考えながら、みんなにとってより良い避難所になるように考える。 ・HUG から自分たちの課題を見つける。 <p>◎こんな時どうする？ 【4時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の様々な場所で大きな地震に遭った時、どのようにすればよいかを考える。 ・釜石の奇跡の小中学生の行動を思い出し、自分たちが今、何を調べなくてはいいのかを考える。 	<p>課 HUGをもとに、今の自分たちにできること、できないことを確認し、新たな課題を探している。</p> <p>解 今まで学習したことや、調べたことをもとに、自分たちの学校や家での避難行動について考えている。</p>	<p>2学期</p> <p>「理科」</p> <p>○土地のつくりと変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震のメカニズムを知る。 ・地震による土地の変化の様子を知る。 <p>○地震や火山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震による災害とその被害、対策について調べまとめる。 <p>「国語」</p> <p>○調べるための本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図鑑や白書、統計集、地図などの使い方やそれを使っての調べ学習の方法について学習する。 <p>○説得力のある意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わる話し方、伝え方について学ぶ。
	10月 11月 12月	<p>◎率先避難者になるために 【14時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・率先避難者になるために自分たちが知らなくてはいいことを考え調べ学習を行う。 ・調べたことをまとめ、グループで発表の準備をする。 ・誰に向けて発表すべきなのかをクラスで考える。 ・下級生に向けて発表をする。 ・自分たちが調べたこと、クラスで共有したことをもとに実際の震災で起こりうる課題について意見交流会をする。 (本時) ・発表会や、意見交流会で出てきた新たな課題や解決できなかった課題を解決するために調べ学習やインタビューをする。 	<p>情 「率先避難者」になるために自分たちに必要なことを考え、調べ学習をしている。 (ワークシート)</p> <p>表 調べたことを効果的に伝えるためにグループで話し合い、工夫をしている。 (活動の様子)</p> <p>課・解 今まで学んできたこと、自分たちが調べたことをもとに実際の震災で起こりうる問題について話し合い、更に学習すべきことを探している。 (振り返り・発言)</p> <p>情 意見交流会での新たな疑問を解消するために意欲的に探究的活動に取り組んでいる。 (振り返り・活動)</p>	<p>「算数」</p> <p>○速さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さの求め方について学習し、津波や土砂の速さを計算する。 <p>「学校行事」</p> <p>○シェイクアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのシェイクアウト行動を振り返る。また、校内の下級生の避難行動についても同様に振り返り、課題を話し合う。

学期	時期	内容 ◎題材 ・学習内容	評価	他教科との関連
3 学 期	1月	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">率先避難者になるために自分たちに何ができるか考えよう。</p> <p>◎防災すごろく【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを通して、避難方法の再確認をする。 ・自分たちが今まで学習してきたことを振り返る。 <p>◎避難所運営ゲーム（HUG）【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自分たちが、避難所で何ができるのかを考える。 ・自分たちが今まで学習してきたことの振り返りをする。 	<p>課防災すごろくを通して、自分たちに今分かること、分からないことを確認する。そこから新たな課題を探そうとしている。</p> <p>課HUGをもとに、今の自分たちにできること、できないことを確認し、新たな課題を探している。</p>	<p>3学期</p> <p>「国語」 ○平和な世の中を築く～ ・防災をテーマにしてディベートを行う。</p> <p>「理科」 ○電気の利用 ・災害用ライトの仕組みを知る。</p> <p>「社会」 ○災害から私たちを守る政治 ・東日本大震災による各地の被害を知り、被災された方々の願いをかなえるための政治の働きについて学習する。</p>
	2	<p>◎自分たちにできることを探そう。【10時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返って、何ができるようになったかを確認する。 ・自分たちは周囲の人の減災・防災のために何ができるのか、何をしたいのかを考える。 <p>→後輩のために、防災ブックを作り図書館に残す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが防災学習の最後に何をしたいのかを話し合う。 <p>→東日本大震災など大きな災害に遭われた方がどのように助かったかを知りたい。また、今でも応援しているという気持ちを伝えたい。</p>	<p>課減災のために自分たちには何ができるのかを考えている。</p> <p>解自分たちが学んできたことをどのくらいのようにして役に立て、また伝えるのかをクラスでの話し合いから見つけようとしている。</p> <p>表自分たちの思いや考えを伝えるためにどのようにすればよいかを考えている。</p>	<p>「道徳」 ○今の私にできること（自作教材） ・女川FMや、南三陸町の遠藤さんのお話を聞き、今の自分たちにできることは何であるのかを考える。</p>
	3月			

5 実際の活動の様子

1学期 自分たちの生活を振り返ろう

あそび

避難訓練

今日の学習の内容と感想

今日のびなん訓練は、校庭に避難するときには、べつなあたし、がうすにみたてたべつボトルキャップも動かさずに、びなんできたのがよかたてです。また、走りすにれいせいにびなんできたのがよかたてです。1年生のときより、たくさんうけたりいいのかを考えられたのでよかたてです。

新たに気づいたこと

階段で通る時は、通行を気にして、ゆずりあっています。通るときは、ゆずりあっています。通るときは、ゆずりあっています。

あそび

避難訓練

今日の学習の内容と感想

今日の避難訓練をやる時、前回よりも放すのを開き、周りに気を付けて行動することができました。放すのを開いたとき、すぐに避難行動をとりました。階段では、おのづからと合流するときも、と早く判断できたのでよかたてです。教室や校庭でなら、早くしてよかたてです。

新たに気づいたこと

◎振り返りシートの書き方
 年度当初に書き方の徹底をした。

- ・年間を通して同じ振り返りシートを使用
- ・下欄には、その授業で悩んだことや新しい課題だと思ったものを記入。ない場合は未記入で良い。
- ・記入された疑問に関しては、児童に投げかけその場で解決するか、朝の会のニュース発表で調べてきた児童が答えることとした。

◎避難訓練の振り返り

- ・今まで6年間行ってきた避難訓練という行事を見返すことで、現在の自分たちの防災の力がどのぐらいなのかを把握した。
- ・児童の中では、「9分もかかっていたら助からないか?」「避難経路はもっと良いものがあるのではないか?」という疑問が上がった。後日クラスで話し合いを行い、全学年が安全に避難するためには現在の避難経路が適切であること、低学年に合わせて避難経路は決められていることを確認した。



◎校内の安全を確かめよう
◎校内を調査してみよう。
 6年間慣れ親しんだ入谷小学校を、安全の目線で調査する活動をした。

- ・今までとは違う目線で校内を見て回ることで新たな気づきや、総合で考えるべき課題が見えてきた。
- ・「自分たちは大丈夫だけど1年生は...」など自分たちの安全のほかに下級生のことを考える発言が見られた。
- ・昇降口の安全を気にしていた。

入谷小学校防災スタンダード

○教室

- ・教室の避難では、先生の話を、教達の指示をよく聞くこと。
- ・机の下の避難は、机のあしきもちをいじらぬ。
- ・先生がいはい時や、教達がいない場合には、学年児童会・代表委員会の指示で動く。

○階段

- ・濡れがぬかせるまで、階段の手すりにつかまり、顔を低くする。
- ・おどろきではダンゴムシのポーズ
- ・余裕があれば上に電気がないことを確認する。

○廊下

- ・ダンゴムシのポーズをとる
- ・窓ガラスが割れる可能性があるので近づかない

○昇降口

- ・下駄箱の間の通路には避難しない。
- ・濡れがぬかせるまで、外へ避難する。
- ・余裕がある場合も外へ一度避難する。

○図書室

- ・本棚は倒れるかもしれないと考える。
- ・机の下に避難する。

○体育館

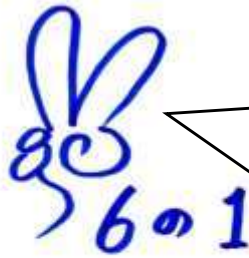
- ・倒れるかもしれないので、壁の近くに寄りかかない。
- ・体育館の中央によって、ダンゴムシのポーズ。
- ・濡れがぬかせるまで、余裕があれば校庭へ避難する。

○校庭

- ・器具の近くから避難して避難する。
- ・校庭の中央に集まって、避難する。

○特別教室

- ・基本は机の下、なければダンゴムシポーズ。
- ・教達をよく聞く、余裕があったり近い場合は自分の教室へ。



◎校内の安全を確かめよう

○入谷防災スタンダード

入谷防災の日（月1回のシェイクアウト訓練）や避難訓練の振り返り、校内安全調査などから、教室だけでなく学校内の様々な場所の避難行動を見直した。

- ・グループに分かれ、再度担当の場所を調査しなおした。
- ・グループでの意見交流会、クラスでの共有を経て、クラスが納得するものになるように話し合いを進めた。
- ・シェイクアウト行動などでスタンダードを気にする様子。スタンダードをもとに下級生など周囲に声がけする様子が見られた。

どこでも近くの下級生を助けてあげるのあたりまえですよ！

◎災害について知ろう。

校内の安全を見ていったので地域に目が向けられるかと思ったが、児童から出てきたのは「地震以外の災害についても知らないはずくない？」という声だった。教師側が予想する流れとは全く違うものが出てきた。

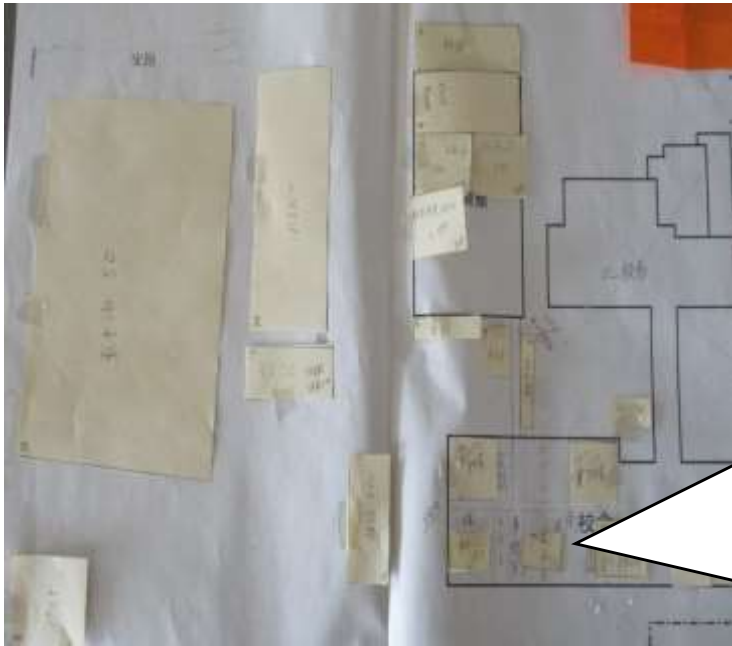
- ・児童からは、「座間市で一番危ないのは地震かもしれないけど自分たちがずっと座間に住んでいるか分からないし…他の自然災害も調べたほうが良いんじゃない？」という声があがった。
- ・自分たちが調べたい災害、最も怖いと思う災害について調べることにした。
- ・クラスでの共有後、児童から「一番怖いのはやっぱり地震だと思う。」という声が多数上がり、地震について2学期以降も学習していくこととなった。合わせて子どもたちの成長の理想の姿である釜石の奇跡（率先避難者）について再度学習した。釜石の奇跡は2学期の学習テーマにつながった。

（ 台風 ）	）について
調べたこと	<p>1つ目は、強風の下で地上から雲と細長く延びる高層の雲層が次の上昇気流、トルネードともいわれる。</p> <p>突風が強い、規模が小さく寿命が短い強烈な風も伴うのが特徴。災害を引いた典型的な気象現象の一つとされている。</p>
対策	<p>外にいるときは口や顔が強い建物に隠れ、屋内にいても窓が壊れるには近づかず、身を低くして避ける。</p> <p>窓の中心部に逃い、1階の窓のない部屋へ移動</p> <p>避難するときは屋根瓦などの飛散物に注意</p>

（ 津波 ）	）について
調べたこと	<p>津波は沿岸を襲った時、大津波のこと。一般的には地震発生時の間に海底の盛り上がりや沈み込みが原因で起こり、海面が一時的に高くなったり低くなったりする。津波は、地震発生後、数分〜数時間かけて到達する。</p>
対策	<p>津波は日本沿岸で発生し、避難場所には避難し、津波が来た時は、建物に隠れる。</p> <p>津波が来た時は、建物に隠れる。</p> <p>非常用持ち出し袋も用意する</p>

（ 火山 ）	）について
調べたこと	<p>火山火口は、火山からマグマや火山灰が噴出する場所。一般的に、噴火は、マグマの性質によって、噴火の種類によって異なる。噴火の種類は、マグマの成分、噴火の規模、噴火の回数によって異なる。</p>
対策	<p>火山の噴火が発表されたら、避難場所には避難し、避難する。</p> <p>火山の噴火、へばりついてマスクを着用</p> <p>避難場所には避難し、避難する</p>

2学期 率先避難者になるために自分たちに必要なことを考えよう。



◎避難所運営ゲーム

○自分たちの防災力を確かめよう

大きな災害が起きた際に入谷小学校が避難所になり、自分たちがその場所の責任者であったとしてどのように避難所を運営していくかをグループで話し合っている活動

- ・自分たちが現在どのようなことができるのか、考えられるのか確認することができる。
- ・入谷小学校の全体図に、「けがをしている方○人」「避難物資」など書かれているカードを配置していく。その際、必ず理由をはっきりさせなくてはならない。
- ・地震の規模や被害状況など、想定を児童にしっかりと示し、より深い意見交流ができるように配慮する。



◎率先避難者になるために自分たちに必要なことは何かを考えよう。

○調べたことを整理して、伝えよう

- ・自分たちや、周囲の人の命を助けるために必要なことは何かを考え、探求的活動を行った。「命を助ける」という大きな強い目標があるために、それぞれの学習活動に強い必然性を感じながら意欲的に活動をしていた。
- ・それぞれ興味に応じたグループに分かれ活動に取り組んでいた。
- ・「大地震・率先避難者」という大テーマのもと、興味に応じて小グループを作り活動に取り組んでいた。また、各テーマが「地震による二次被害」や、「南海トラフ」など難しいテーマも多数あり、意見を出し合ったり、それぞれの見解を話し合ったりしなくてはいけない場面が多数あり自発的な意見交流と助け合いがみられた。



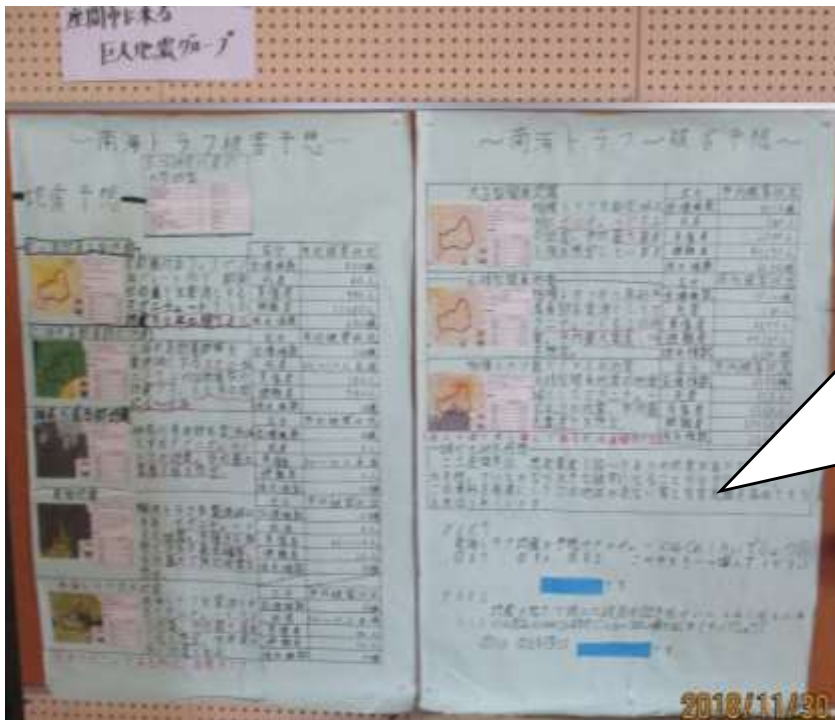


◎率先避難者になるために自分たちに必要なことは何かを考えよう。

◎調べたことを整理して、伝えよう。

(前頁続き)

- ・自分のグループで必要な情報が、他グループの調べている内容に関わっている場合もあり、教え合う様子が見られた。
- ・自分たちで養護教諭や、震災時にその場所に住んでいた先生、保護者にインタビューをしに行く児童の姿が見られた。
- ・また、伝える相手を誰にするかをクラスで話し合ったところ、「次は5年生が学校を守っていく番だから」という声上がり、自分たちが調べたことや今まで学んできたことを5年生に伝えることとなった。
- ・校内研究のスーパーバイザーの先生に専門的な視点からの話を聞くことができ、防災意識が高まった。



座間市に来る巨大地震グループ

- ・今後どのような地震が座間市に来ると予想されているのか？また、その時の被害想定はどのようなものなのかを調べた。
- ・また、調べた情報と比較するために、関東大震災の時の座間市の被害データやそれぞれの地域の様子をなども調べていた。
- ・自分の住んでいる場所にかかわる学習であるため、児童は危機感を持って調べ学習に取り組んでいた。



地震による土砂災害・液状化グループ

- ・このグループは、まず自分たちの住む地域で、地震によって危険なことは何かを考えることから始まった。祖父母に話を聞くことが良いと思ったようで、その話の中からテーマを設定した。
- ・メンバーの児童には、四谷地区（田んぼが多くある地域）に住む児童と、登校中に梨木坂という場所を通過する児童がいる。また、皆原という地区に住む児童もいて、ここは山の斜面に立つ新興住宅地であり、自分たちの住んでいる地域の特性から土砂災害、液状化を調べることにした。



防災への備え・防災グッズグループ

- ・非常用持ち出し袋を事前に用意しておくこと、防災グッズの使い方を知っておくことが大切だと感じ調べ学習を進めた。
- ・新聞紙で作れるスリッパ、ティッシュで作るマスク、水を節約するために皿を汚さないための工夫など実際に試していた。
- ・その他
 - 避難所、応急処置グループ
 - 土砂災害、液状化グループ
 - 噴火グループ 火災グループ



調べ学習・検証授業

調べ学習の中で、二次災害の避難行動やその予防法を調べているグループから実際の津波の速度を体感してみたいという要望と、地震の後の救急車両などのルート確保の際の自動車の移動方法を体験してみたいという要望があり、学年の協力のもと検証授業を行った。



中間発表会・意見交流会準備

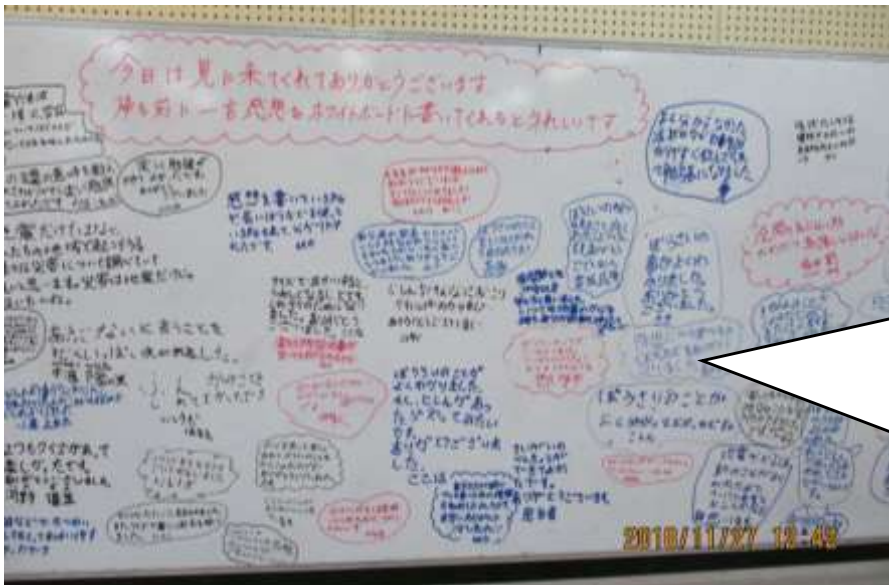
- ・自分たちが5年生に発表するための方法、発表場所を自分たちで決めさせ、準備を行った。
 - ・発表会後の意見交流会（中間発表2）のために各チームを色分けしている。
- ピンク・災害関係
 黄色・避難行動
 白・備え、避難グッズ
 青・座間市大地震被害想定
 緑・避難所、応急手当



◎率先避難者であるために

○中間発表会

- ・5年生に向けて発表を行った。
- ・クラスでの発表内容の共有（リハーサル）後、より良い発表になるようにアドバイスし合い、本番を行った。
- ・5年生も防災を学習しており、発表に対してしっかりとした質問を返していた。児童の意欲につながる発表会とすることができた。



5年生からの感想

- ・ホワイトボードへの寄せ書きという形で、発表を見に来てくれた5年生に沢山の感想をもらった。
- ・発表の内容に対して、「とてもためになった」という感想や、「これから実践していきたい」という感想が多数あり、自分たちが取り組んできたことが誰かの助けになるかもしれないという有用感を強く感じることができた。

※本時の授業記録は後頁に記載。

3学期 率先避難者になるために自分たちに何ができるか考えよう。



お忙しい中、突然のお手紙失礼致します。私は名寄市立南陽中学校の5年1組の生徒の一人です。多岐の学校では、防災学習と東日本大震災で大きな被害を被った経験から、防災について向けております。ご質問の事で、失礼なことや答へにくいことを聞いてしまふかもしれませんが、もしよろしければ、答えていただけるとうれしいです。今後の学習に生かしていただきます。まず、地震が発生したときはどのような行動が正しいか。避難しているとき、または避難した後、一番心配になったことはどんなことですか。地震が発生した後の学校や町を見たとき、どんな気持でいたか。地震が起きてから、こうしておけばよかったということ、こうしておけばよかったということは何ですか。返信はなくても大丈夫です。返信が来た場合、大変なことが沢山あると思います。私達も防災について、と考えることができることから少しおつかひさせていただきます。今日は、この手紙を書き込んでくださり、ありがとうございました。いつも東日本大震災のことをたれすに応援しています。

○自分たちにできることを探そう

- ・自分たちが学んできたことで最も減災に役に立つと思ったことをまとめ、1冊の本にして入谷小学校の後輩が大きな災害でも被害にあわないようにという願いを込めて、図書室においてもらうこととした。
- ・被災地への手紙では、相手のことを考え、書いては見たものの出さない方がよいというグループも多くあった。クラスで話し合いその際は出さなくてもよいこととした。

6 本時の指導

(1) 目標

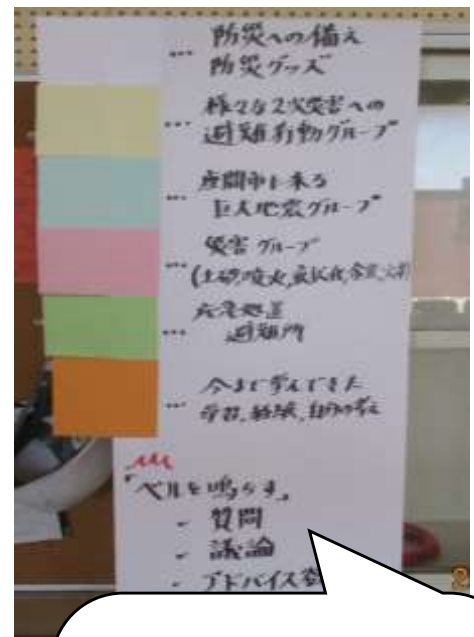
今まで学んできたこと、自分たちが調べたことをもとに実際の震災で起こりうる問題について話し合い、更に学習すべきことを探している。(問題解決・課題設定)

(2) 実現状況を判断する際の具体的な子どもの姿と、目標実現を目指すための手立て

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する (C) と判断した 児童への具体的な手立て
自分たちが調べたことをもとに実際の災害現場で起こりうる問題について積極的に話し合い、更に学習すべきことを主体的に探している。	自分たちが調べたことをもとに実際の災害現場で起こりうる問題について話し合い、更に学習すべきことを探している。	教師の声がけにより、今までの防災学習を想起し、話し合いに参加し今後の自分に必要なことを考えている。

(3) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価
導入	1 本時の学習課題を確認する。	・既習事項を振り返り、本時の学習内容を確認する。	
展開	今まで学んだこと、調べたことをもとに、震災で起こる問題を解決していこう。		
	2 調べたこと・今まで学習してきたことをもとに、予測される震災時に起きる問題の解決策を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマのチームをそれぞれ色分けし、また、それぞれの発言をその色で記録することにより、どの学習チームからの発言なのかを明確にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 白…地震への備え、防災グッズ 赤…地震に関わる災害(噴火、土砂、津波など) 青…南海トラフ、首都直下型地震、大地震が起きた際の座間市での被害 黄…避難行動 緑…避難所、応急手当 オレンジ…今までの学習を振り返って </div>	<p>評価 自分たちが今まで学習したこと、調べたことをもとに実際の災害現場で起こりうる問題について話し合い、更に学習すべきことを探している。 (発言・ワークシート)</p> <p>手だて 教師の声がけにより、今までの防災学習を想起し、話し合いに参加し今後の自分に必要なことを考えている。</p>
終末	3 解決できなかった問題をクラスで振り返る。	・解決できなかった問題は、児童が今後学習すべき内容であることに気付かせる。	
終末	4 本時の振り返りをする。	・解決できた内容は、「学習の成果」として、解決できなかった内容は「次時からの課題」であることをしっかりと押さえ、振り返りを行う。	
	5 次時からの活動を確認する。	・児童が今後の学習の見通しを持てるようにする。	



◎率先避難者になるために

○意見交流会（本時）

- ・調べてきたことや、発表してきたことをもとに、実際の災害現場で起こった、起こりうる問題をクラスで解決していく授業を行った。
- ・自分たちが学んでいることが実際の災害現場でどのように役に立つのかを確かめ、防災教育の意義を感じさせることができた。なぜ、学習しているのかという意識がはっきりとし、それぞれの学習活動に必然性を持たせることができた。

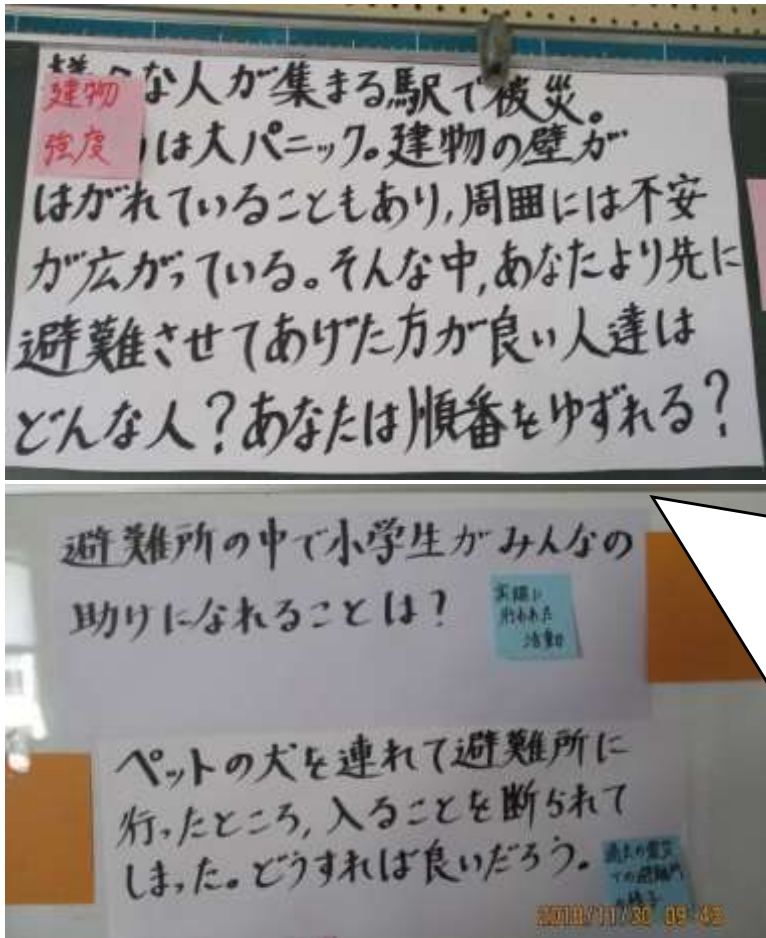
本時しかけ

- ・学習グループの色に準じたシートで自分たちの意見を示す。どのグループの発表に起因する考えであるのかをはっきりとさせた。
- ・ベルを用意し、全体に投げかけたいことへの合図とした、児童の自由な話し合いを進めた。



○本時

- ・ベルが鳴ったら、全体での話し合いにうつることとした。その際、今の議題が何であるのかをはっきりさせるために、黒板横のホワイトボードに議題を明示することとした。
- ・児童は、自分のグループだけでは解決できないこと。黒板に記されている他のグループの解決法への質問や意見など様々な理由でベルを鳴らし、全体の話し合いをもとうとしていた。



意見交流会から新たな学習課題

- 話し合いを進めても解決できなかったものに関しては、左上にあるように付箋を貼っておき、「率先避難者になるためにさらに調べなくてはいけないこと」とし、新たな学習課題とした。
- 児童が本時で解決できなかった課題には、「避難所の中で小学生が実際にみんなのためになにをしたか」「過去の震災での避難所の様子」など過去の震災に関わるものや、「駅など公共の建物の強度を知りたい」など難しい課題も出てきた。
- 後日、課題を市役所に務めている保護者に聞く、自分で調べてみるなど自発的に探究をし、クラスの友達に教える姿が見られた。

あなたと話し合ったことをもとに大地震で起こる悩みを解決しよう

今日の学習の内容と感想
 みんなでたくさん問題の解決法を考えたことが出来てよかった。実際に大きな災害が起きた時に、いろいろな問題を冷静に対処できるよになりたいと思った。

実際に大きな災害が起きたら、みんな協力してやる。

あなたと話し合ったことをもとに大地震で起こる悩みを解決しよう

今日の学習の内容と感想
 自分の意見をたくさん言えたのでよかった。色々な問題があり、知識でとけるものもあれば、皆が発表した新聞を見たり、自分でよく考えないとその場ではとけるものもあつたので、これから防災の知らないことを知りたいな、と思いました。

1組 17 / 行方不明者訓練

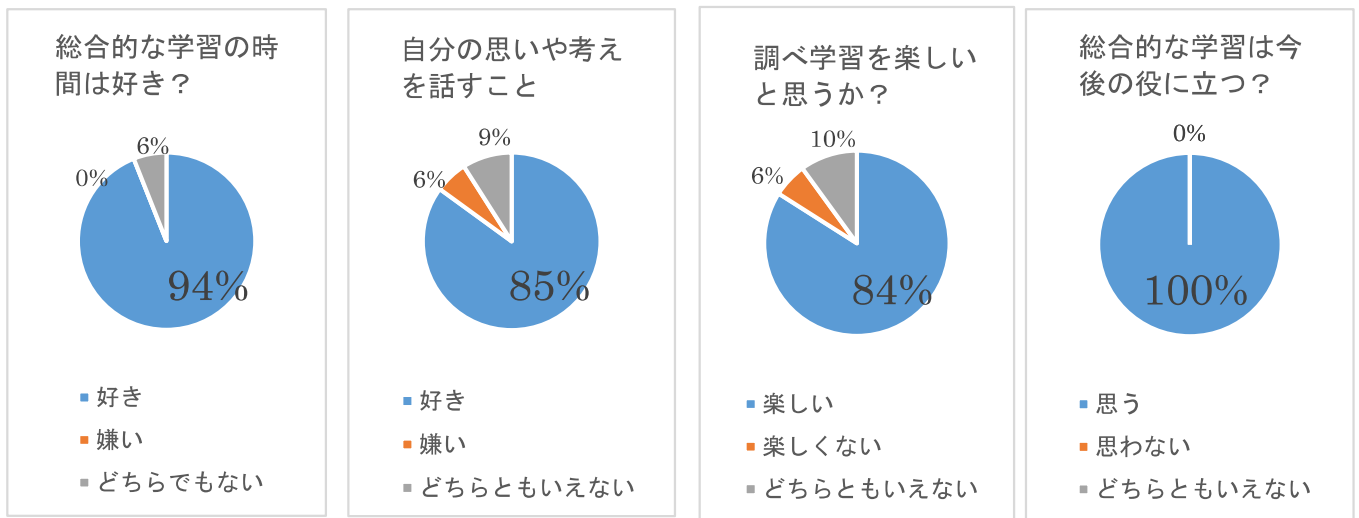
授業後の振り返り

- 友達と意見を交流することの大切さであったり、純粋に話し合いが楽しかったという意見であったり、さらに様々な問題に対応できるようになりたいという意欲であったり様々な感想があったが、そのどれもが次時の活動への意欲を感じられるものであった。
- 振り返りにも下段の更に学習したいことが書かれていた。

3

研究の成果・課題

平成31年3月実施 対象 6学年1組 33名



(1) 児童の主体性を育てる防災学習

総合的な学習の時間において、防災学習という題材が持つ力を強く感じた場面が多数あった。まず、「防災学習は、目的意識がはっきりとしている」ということである。防災学習は、自分たちの安全のための学習、突き詰めていくと「命を守る」学習である。これまで様々な場面で命の大切さを学習してきている児童にとって「命を守るための学習」という防災学習の大前提は非常に強い目標であり、活動を進める上での指針となった。それは、今自分たちがなぜこの学習をしているのかという必然性につながり、もっと学びたいという意欲へとつながっていた。防災学習により目標を明確にし、それぞれの学び・活動に必然性を感じさせることは、総合的な学習の時間をより良いものにするための重要な要素の1つである児童の主体性を引き出すために非常に有効であったと感じている。また、活動の中で育っていった児童たちはいつしか「自分たちの命を守る学習」に加えて、「他者の命を助けることができるかもしれない学習」という認識が芽生えてくる。この芽生えが更に学習の有意性を高めることとなり、児童の意欲を高め、主体的に学ぶ姿勢につながっていった。

(2) 学びの連続性

防災学習の学びには終わりが無い。1つの課題が解決できたとしても、そこから必ず新しい課題が生まれてくる。例えば、避難所の学習を進めたとしても、「もし小さい子がいたらどうしよう」「ペットを連れてきたい人がいたらどうなるのかな」「避難物資を置く場所を考えたいけど、実際に中身ってどんなものなのか詳しく知りたい」など一つの課題からまたすぐに新しい課題が生じる。そして、その新たな課題の全てが、児童自身が本当に必要だと思う興味に寄り添った課題であり、その興味に向かい学習することの繰り返しは、学びの連続性を生むこととなる。この学びの連続性は、「よりよく課題を解決し、自己の生き方考える姿」を育てると考えられる。繰り返し出てくる課題、またそれを知りたいという意欲は、試行錯誤しながらも新しい未知の課題に対応するための資質・能力を育て、また、それを達成したときに感じる達成感や自信により自分の良さや可能性に気付き自分自身を考えるきっかけとなると考えられる。

(3) 協働性を高める防災学習

防災学習で児童が直面する課題は非常に難しく、大人が考えても解決する方法が見つからない場合も多々ある。よって解決が困難な課題に出会ったとき、その課題を解決することが自分たちのためになるのだという学習への有意性を強く児童が感じていれば、児童は課題を解決するために自然と対話や情報の交換を周囲と始めるといったことが感じられた。教師に促されるのではなく、一つの目標に向かい、友達と自然にコミュニケーションを取っていく姿は、児童の成長のあかしであり協働性の現れであると感じている。また、課題の難易度の高さだけではなく、防災学習の課題はその時々々の状況や、その問題に直面する方の状況によって変わるものであることも自発的なコミュニケーションが生まれる要因であると考えられる。防災学習は、児童の協働性を高めるのに適した題材であることを強く感じた。

(4) 研究の課題

本学級の児童は、校内研で防災学習を行ってきたこともあり防災学習の素地がある上での実践となった。そのため、実際にはさらに指導の時間が必要になってくる。また、校内研との関連である「入谷防災の日」のシェイクアウトも実践の中では児童のフィードバックや学習への意識づけなど大きな意味を持っている。そのため防災学習を児童にとって有意義なものとするためには、学校内での連携が必要となってくる。また、防災学習にはある一定の正解があり、避難方法の常識等が存在する。児童が調べていること、考えていること、提案することがそれに沿っていない場合にどのように学習を軌道修正するかが非常に難しい。児童の能動性、主体性を育てつつ、どのようにして教師の指導性を発揮していくのが、総合的な学習の時間で防災学習を行う上での大きな課題であると言える。

児童の総合的な学習の時間、防災学習の振り返り

<p>僕が一番成長したと思ったことは人の気持ちになって考えるということです。 理由は前は自分のことを考えてたけど今は、最悪な状況で考えた人の気持ちを考えられるようになったことです。 前にも防災の勉強をした後のほうが助かるか？って上がったと思うし、中学の防災のじぎょうにいかうと思いましたが、お断りされたことには、みんなにその人のことを考えてあげたので返事がなくて気持ちよく伝わったと思います。防災のじぎょうで役に立たなかったことはないです。これからも全国で防災の勉強をみんなは助かるかもいえると思うので防災の勉強してほしいです。</p>	<p>私は4年生からの3年間総合と防災の勉強をしていました。 学校での避難のしかたや、防災用伝言ダイヤル、津波や液状化のことなどについて学習して思ったことは、もし大きな地震がきたとしても、状況を正しく理解し、おちついて自分がすべきことを考えるという心が大切だということです。今まで体験したことのないような大きな地震がきたら、一生懸命防災の勉強をしていれば、生き残ることができると思っています。 また、避難所に避難ゲームをしていろいろな人の気持ちを知るこの難かしく大切なことを改めて学ぶことができた。 3年間勉強してきたことはしっかりと身につけていきたいと思います。これからも防災の勉強をしっかりとしていって自分の命、周りの人の命を守れるようにしたいと思います。</p>	<p>僕は総合を1年間やる前には、防災について家族と話し合ったりする機会があまりありませんでしたが、1年間やって地震や火事などいろいろなことを家族で話し合えるようになりました。またいろいろな震災について話し合うことにより、みんなで協力する大切さを学ぶことができました。一人だけの意見を聞くだけでなく一人一人の意見を聞いて考えていくことにより、みんなが納得するような意見を言うことができました。これからも家族や友達と災害などについて話し合っていくと思います。</p>
--	--	--

○防災学習最後の授業 1年間の振り返り

- ・どの児童もしっかりと感想を書いていた。1年間の学習を振り返って書きたいことがあるということは、伝えたいことがたくさんある、学んだことがたくさんあるという気持ちの表れであろうと考えられる。
- ・自分の、誰かの命のためにこれからも防災について学んでいきたいという感想がとても多かった。

参考

- ・平成30年度座間市立入谷小学校 研究紀要
- ・新学習指導要領 総合的な学習の時間